



## 『自分だけ』からの卒業

今週の日曜はいよいよ体育大会です。各団ともに意欲を持って「良い準備」をしています。各団のリーダーはクラスのため、団のため、そして学校のために取り組んでいると思います。

リーダーは最初孤独であると思います。理解者が少ないとき、一人で頑張らなければならない時があります。また、自分のことより、全体のことを優先しなければならない時があります。

リーダーと少し意味が違うが、「エリート」という言葉があります。「エリート」という言葉にあまり良い印象を持たない人もいるかもしれません。それはエリートと呼ばれる人の「自分のことしか考えない言動」が、そう誤解されているのかもしれませんが…。しかし、そもそも「エリート」の意味は、簡単な言葉で言うと

『これは自分がしなければならないことではないけれど、誰かがしなければならないなら、自分がやっていく…と、自分で思える人』だと考えます。大中学生のリーダーにも、このような「エリート」になってほしいと思います。

体育大会とは関係ないかもしれませんが、学校の中で『一番、きれいに並んでいるもの』は何か分かりますか？

それは、トイレのスリッパです。全学年のトイレのスリッパがきれいに揃っています。私が見たときだけかもしれませんが、いつ見ても、いつも同じ方向を向いて、美しく並べられているのです。

全校生徒一人一人が意識して揃えられているならば、本当に素晴らしいことです。しかし、気付いた生徒がきれいにしよう、揃えよう、次に使う人のために…。そう思って並べてくれているのかもしれませんが。

使っていないトイレのスリッパが乱れているのは、別に「自分の責任」ではないけれど、これを「自分の責任」と思って、身体を動かすこと。これは、リーダーの一番の要素であると思います。

『断れば断ることのできる仕事や責任をあえて受け入れる』…リーダーやエリートの要素とは『自分にとって不都合なことをどれだけ受け入れられるか』だと思います。これは、大人になってからも「誰からも応援されるかどうか」の大切なポイントになるものです。

トイレのスリッパが揃っていなくても、別に評価が下がるわけでもない。別に怒られるわけでもない。しかし、保護者の皆様が、地域の方々が、学校関係者の方々が来校し、きれいにトイレのスリッパが揃っているのを観たら、「この学校は素晴らしい学校だ」と思うはずです。全校生徒の足並みが揃っていることに『力』や『勢い』を感じるはずです。

ある意味、トイレのスリッパが揃っているかどうかは『学校の状況を知るバロメーター』の一つなのかもしれません…。

色々な行事や活動で「同じ場所で、同じ時間に、同じ事を一生懸命頑張る」ことを通して、『共感力』を身につけていくことを、一番大事にしてほしいものです。人間は自分の周りにいる人によって大きく変わります。

『共感力』…「みんなでやっというところをする力」を大事にし、その仲間との「響き合い」の中で人は育てられていきます。だからこそ、リーダーの要素が一人一人に必要なのです。

昨年度、私は3年生の担任でしたが、この『共感力』の大切さを身にしみて分かった気がします。先に志望校に合格した生徒は、「自分は合格したから、もう勉強はしない…」「自分は合格したから、授業は寝てもいい…」というような姿は見られませんでした。逆に『自分は合格したからこそ、まだ合格していない友達のために』率先して給食配膳をする、勉強を教える、あえて自分の仕事ではない仕事をする…。そのような姿が大切だと思います。

体育大会の話に戻りますが、  
体育大会を一生懸命に作り上げようとしているあなたたちに…

**「一生懸命作ったものは、一生懸命観てもらえる」**

これは、有名な映画監督、黒沢明氏の言葉です。

そして、一生懸命頑張っているあなたたちの姿は学校に、地域に、観ている人たちに勇気や希望、感動を与えます。

